

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報工学実験第二B		
英文授業科目名	Information Engineering Laboratory II B		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	実験	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	J全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
kakuda@cs.uec.ac.jp	http://jikken.cs.uec.ac.jp

【主題および達成目標】
<p>主題： コンピュータ科学、ソフトウェア学、計算科学、計算機応用学に対応した応用的な実習をおこなう。</p> <p>達成目標： 各課題について、的確な問題分析とシステムの設計、実現、評価ができること、明晰な報告書を作成できることを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>離散数学、プログラミング通論、計算機通論、論理設計学、複素数学、数値計算第一、 データ構造論、オペレーティングシステム論、 情報工学演習第一、情報工学演習第二、情報工学実験第一</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
各課題ごとに資料を配布する。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

情報工学実験第二Aと一体となって実施する。具体的な日程、実施方法については7月に説明会をおこなう。全実験日程を前半と後半に分け、どちらかが情報工学実験第二Bとなる。

マルチメディア課題を含んだコンピュータ科学、ソフトウェア学、計算科学、計算機応用学の応用にあたる内容をもつ課題から選択的に履修する。

実験は2ラウンドからなり、1ラウンドは6回(1回=2コマ)で構成される。

1ラウンドあたり10程度の課題から1つを選んで履修する。

各課題の対応人数はほぼ同数であり、履修課題は希望および情報工学実験第一の成績に基づいて決定する。

詳しくは7月に選択方式、各課題の詳細を説明する会を開くので、掲示に注意すること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席、レポート、面接により判断する。比率は課題ごとに異なる。全課題を平均して60点以上の点数を取ることが合格の最低基準である。ただし、1課題でも0点の課題があれば不合格とする。

【オフィスアワー：授業相談】

統一して設けることはしない。

実験の時間内、あるいは、電子メールを利用して質問すること。

【学生へのメッセージ】

この科目に合格しなければ、卒業研究に着手できないので、懸命に努力すること。

【その他】

各担当者の電子メールアドレスはガイダンス時に配布。